

葛西(工大)、上崎(三沢出身)、名原(青森大)ら

県勢8選手 指名期待

プロ野球ドラフト会議が20日午後5時から、東京都内で行われ、将来の球界を担う有望選手の行方が決まる。高校屈指のスラッガー浅野翔吾（高松商）、投打二刀流で注目される矢沢宏太（日体大）らが目玉だが、例年に比べて小粒な印象。各球団が候補選に頭を悩ませる中、八工大一高の捕手葛西凜、東日本国際大の外野手上崎彰吾（三沢市出身、青森山田高出）、青森大の外野手名原典彦らプロ野球志望届を提出した本県関係選手の指名に期待が高まる。

（成田亮）

あすプロ野球ドラフト会議

葛西は、181センチの長身を生かした強肩と打力を武器に昨秋の東北大会4強、今夏の県大会準優勝に貢献。試合の流れを読む力など優れた野球センスで早くからスカウト陣の注目を集めており、指名が有力視される。

6月の全日本大学野球選手権で大会新となる4試合連続本塁打を放ち、首位打者に輝いた上崎もプロ入りに名乗り。大学3年まで目立った実績がなく、最終学年になって頭角を現した強打者を

このほか、最速150キロ超の直球とスプリットを操る八戸学院大の投手松山晋也（野辺地西高―法大出）が候補に挙がっている。

でランニング本塁打を放った八学光星高の外野手佐藤航太、高校通算23本塁打と最速148キロの直球で注目を浴びる東奥義塾高の内野手中田歩夢がプロ志望届を提出。独立リーグのルートインBCリーグでは、神奈川県フューチャードリームスの投手鳥谷慎吾（弘前東高―日体大出）、新潟アルビレックス・ベースポール・クラブの外野手小池智也（八学光星高―法大出）が候補に挙がっている。